

- ▶ 宮崎市では、小規模な森林所有者が多く、間伐等の手入れがされていない人工林が多いことから、森林環境譲与税を財源として森林経営課理制度に基づく取組みを進め、森林整備を推進する方針。
- ▶ 令和元年度においては、以下の取組みにより来年度の意向調査対象地の選定や管理状況の把握につながった。
 - モデル地区において森林の管理状況や今後の管理の意向について事前アンケートを47ha、193人に実施した。

事業内容

1 森林所有者への経営管理に関する事前アンケートの実施

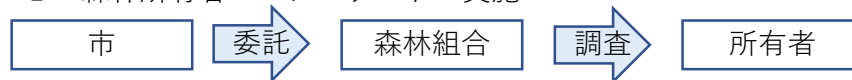
- 航空写真を基に人工林かどうかを目視で判断し、人工林と判断した森林所有者を対象に地元説明会の他、森林の管理状況や今後の管理の意向について事前アンケートを47ha、193人に実施した。そのうち79人（41%）の森林所有者から回答あり。

【事業費】473千円（全額譲与税）

【実績】アンケート実施面積 47ha

事業スキーム

1 森林所有者へのアンケートの実施



工夫・留意した点

- 最初のモデル地区であり、森林所有者の把握が比較的容易であるとの見込みから、地籍調査を最近実施した区域を調査することとした。
- アンケートの発送に使用する封筒を市の封筒にして市が発送することでアンケートの回収率向上を図るなど、市と森林組合のそれぞれ得意な分野で業務を分担した。
- アンケートの設問を少なくするなど、回答率の向上に努めた。
- 余計なトラブルを防止するため、筆界未定の土地は調査対象外とした。

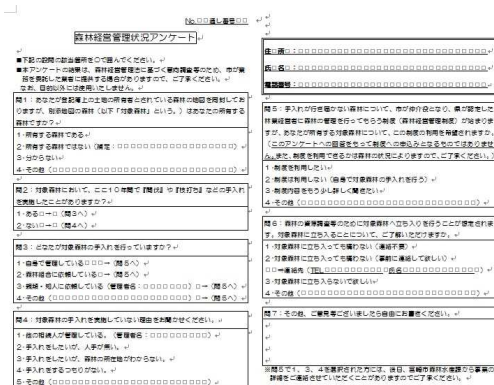
基礎データ

①令和元年度譲与額	43,076千円
②私有林人工林面積（※1）	10,183.77ha
③林野率（※2）	54.9%
④人口（※3）	401,138人
⑤林業就業者数（※4）	327人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
 ※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より



（事業1：説明会の様子）



（事業1：アンケート用紙）